



かけはし

管内6市町の
幼・小・中・義
務教育学校と北
部教育事務所を
つなぐ架け橋を
目指します。

宮城県北部教育事務所 指導班だより 令和7年7月17日(木) 第2号

令和7年度学校・園訪問がスタートしました！！

今年度の学校・園訪問が5月19日の栗駒中学校(A訪問)を皮切りにスタートしました。今年度から、訪問の形態が変更になり、より学校・園に寄り添った形をとることができるようになっています。「協働による授業づくりの充実」を目指したA訪問、「個々の教員の授業力の向上」を目指したB訪問、「単元構想を基にした授業づくりの充実」を目指したC訪問、「校内研究の充実」を目指したD訪問、研究指定校対象のE訪問の5つの訪問になっています。私たち指導班としてもこれまで以上に学校そして先生方の思いや期待に応えられるようにと気を引き締めて、訪問に臨みたいと考えています。日々の授業づくりに悩んでいることなどを共に共有し、解決の道筋が見えるよう一緒に頑張っていきましょう。

加美町みやざき園



加美町のみやざき園では「自分を表現できる園児」の育成に向け研究を推進しています。4歳・5歳児の保育では、振り返りの場面において園児の思いや考えを引き出し、全体で共有する中で、子供に寄り添う先生の援助が見られました。

大崎市立大貫小学校



大貫小学校では算数の授業提供がありました。先生が提示したデジタルコンテンツをもとに、割り算の意味理解を進め、授業後半では、自分の選んだコースの適用問題に取り組み、学びを確実にしようとする姿が見られました。

大崎市立敷玉小学校



D訪問の敷玉小学校の第1回目の訪問では、D訪問のゴールや進め方を確認しました。その後、学習指導要領を基にし、単元構想を大切に教材研究の方法について共有しました。また実際に単元の構想を考えました。

研修会スタート！初任者研修（1年目から）

5月8日の初任者研修（2年目）を皮切りに、今年度の事務所研修がスタートしています。4月から教員として採用された初任研1年目の先生方の研修も5月13日・27日に行われました。初めての事務所研修ということで、会場には緊張感が漂っていましたが、先輩の先生のお話を聞いたり、4月からこれまでの学校生活を振り返るグループワークを行ったりする中で、自分の悩みが自分だけのものではないこと、だれでも通る道なのだというのに気づきほっとした先生が多くいました。「悩んだ時は一人で抱えこまず、遠慮なく先輩の先生方に聞くこと」と伝えてあります。各学校の先輩の先生方、どうか温かく、そして時には厳しいアドバイスで、初任の先生方を導いてください。そして初任の先生方、これからも頑張りましょう。



研修会に参加した先生方の振り返りから

自分だけが悩んでいるわけではなく、初任者として皆同じ悩みを抱えていることが分かり、少し緊張が解けました。また同期採用者とのつながりができたので、今後の初任者研修でも交流を深め、学校の枠を超えて助け合えるような仲間になっていきたいと思います。

大崎市立鹿島台小学校 菅原 愛美 先生

子供たちと過ごす時間は、私自身にとっても大きな喜びであり、子供に「一緒にいて楽しい」と感じてもらえる関係を築くことが、子供の学びや成長につながると感じています。そのためにも、子供と真摯に向き合い、安心して過ごせる環境づくりを意識していきたいと思います。

栗原市立一迫小学校 佐藤 秋空 先生

教師の何気ない言葉が、子供の将来に大きな影響を与えることがあるという稲辺所長のお話に深く共感しました。私自身、頑張りたい時に思い出すのは、中学時代の担任の言葉です。改めて子供と積極的にかかわっていかうと感じました。

大崎市立古川中学校 菅井 恵 先生

今までは、常に目の前の状況に追われ、自分が行った授業を振り返る機会が少なかったのではないかと感じています。特に「子供の振り返りを使って反省する」ことは、子供が学習にどのくらい取り組めたのか分かる指標になると思うので、早速実行していきたいと思います。

大崎市立古川第一小学校 阿部 祐士 先生

